

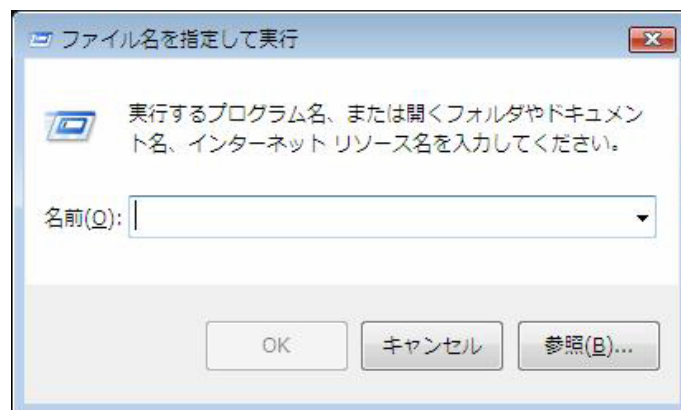
A.2 SAMBA 接続を利用する

A.2.1 Windows から接続する

ここでは、Windows Vista を例に接続方法を説明します。

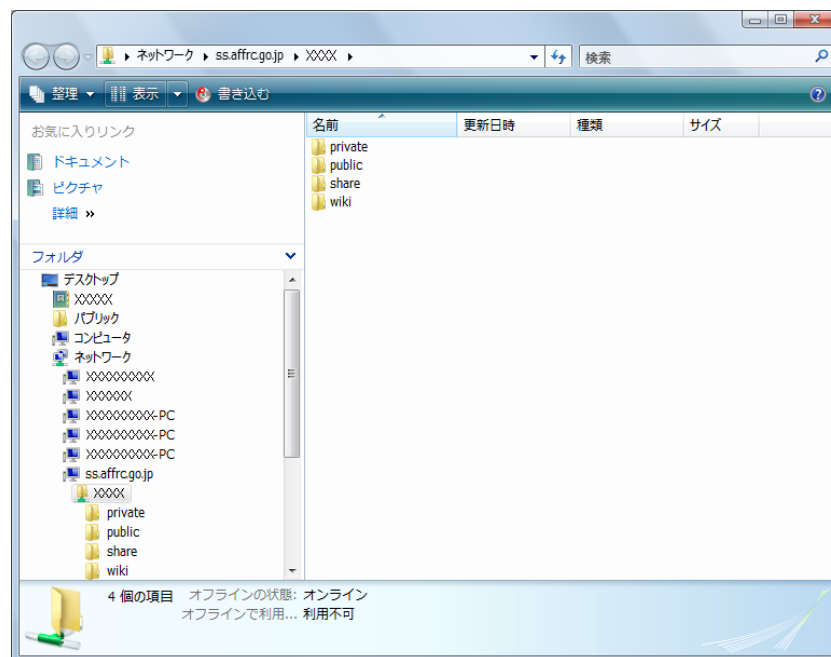
操作

- 操作1 画面左下の“スタート”ボタンをクリックし、“すべてのプログラム”→“アクセサリ”の順に選択してから、“ファイル名を指定して実行”をクリックします。
＜ファイル名を指定して実行＞画面が表示されます。



- 操作2 “名前”の入力域に、“¥¥ss.affrc.go.jp¥□□□”と入力します。
“□□□”には、利用者のログイン名を入力します。
- 操作3 “OK”ボタンをクリックします。
ユーザー認証画面が表示されます。
- 操作4 ユーザー認証画面で、以下の情報を入力します。
- (1) “ユーザー名”の入力域に、ログイン名を入力します。
 - (2) “パスワード”の入力域に、パスワードを入力します。
入力したパスワードは、伏せ字（“*”など）で表示されます。

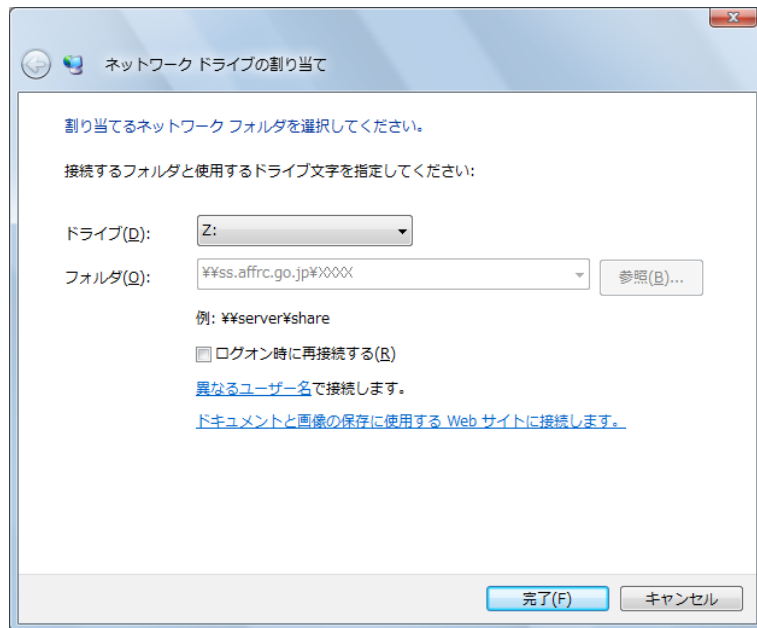
- 操作5 “OK” ボタンをクリックします。
研究データ交換システムに接続され、ホームディレクトリが表示されます。



参考★ ネットワークドライブの割り当てについて

研究データ交換システムのサーバーをネットワークドライブに割り当てると、自分のパソコンのドライブのように操作できるため、研究データ交換システムへのアクセスが簡単になります。

研究データ交換システムに接続した状態で、フォルダツリーの接続先名を右クリックし、“ネットワークドライブの割り当て”をクリックすると、＜ネットワークドライブの割り当て＞画面が表示されます。



“ドライブ” 欄の ▼ をクリックして、研究データ交換システムに割り当てる文字を選択します。

“ログオン時に再接続する” のチェックボックスをチェックすると、Windows へのログオン時に自動的に研究データ交換システムへ接続されるようになります。

“完了” ボタンをクリックすると、ネットワークドライブが割り当てられます。

A.2.2 Mac OS X から接続する

操作

- 操作1 画面下側のランチャーから“Finder”をクリックします。
Finder 画面に切り替わります。
- 操作2 画面上側の Finder メニューから“移動”をクリックし、“サーバへ接続”をクリックします。
＜サーバへ接続＞画面が表示されます。



- 操作3 “サーバアドレス”の入力域に、“¥¥ss.affrc.go.jp¥□□□”と入力します。
“□□□”には、利用者のログイン名を入力します。
- 操作4 “接続”ボタンをクリックします。
＜SMB/CIFS ファイルシステム認証＞画面が表示されます。
- 操作5 ＜SMB/CIFS ファイルシステム認証＞画面で、以下の情報を入力します。
- (1) “ユーザー名”の入力域に、ログイン名を入力します。
 - (2) “パスワード”の入力域に、パスワードを入力します。
入力したパスワードは、伏せ字（“*”など）で表示されます。

参考★ “ワークグループ/ドメイン”について
サーバー側で設定される内容のため、変更する必要はありません。

- 操作6** “OK” ボタンをクリックします。
研究データ交換システムに接続され、ホームディレクトリが表示されます。

